

施策評価シート

施策等名称	公民館の充実	体系番号	0201020101
		主管課	生涯学習課(中央公民館)

1 施策基本情報

現状と課題		中央公民館は、住民の生涯学習推進の中核を担う施設として様々な学習の機会と場を提供しています。利用者数は、ここ5年間程はほぼ横ばいで推移しています。事業として、各種講座、音楽祭、芸能祭、芸術祭、野排球大会等を開催していますが、若者の参加減少、社会教育関係団体等の高齢化などの課題があります。施設及び機器については老朽化による修繕等が増えている現状です。早めの対応に努めていますが突発的な不具合発生も多い状況です。 地区CCは地区公民館(地区館)として位置付けられ、地区館と本館、分館(自治公民館)と地区館の連携により地域での公民館活動を推進しています。							
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)		「いつでも」「どこでも」「だれでも」学べる環境づくりを目指して、各種講座等多様な学習活動を支援しながら、人々の交流を通じての人づくり、地域づくりを目指して公民館活動を展開する。							
施策指標	指標名称		指標の説明(単位)		計画策定時 (平成29年度値)	2022年度目標値 2027年度目標値			
	①	公民館利用者数	中央公民館利用人数(人) ※ロビー展・芸術祭等の不特定来館者数は未把握のため含まず。出前講座人員含まず。		45,353	48,000 50,000			
	②	公民館講座満足度	講座終了時アンケートによる満足者数/アンケート回答者数(%) ※平成29年度途中から集計開始のため実績値なし		-	100 100			
	③	地区公民館事業	10地区公民館で開催された講座及び事業の数(件)		53	56 60			
施策の体系	施策の柱1	名称	公民館の運営と機能の充実			主管課	生涯学習課(中央公民館)		
		詳細	生涯学習の場であり、出会い・つながる場・成果発表の場である中央公民館を、生涯学習の推進を図っていく中心的・中核的な施設として位置づけ、事業の推進を図ります。また、住民の自主的・主体的な活動拠点としてグループ活動の支援を進めます。施設の老朽化を踏まえ、安心安全に気持ちよく使用できるよう維持・管理・修繕等を行っていきます。						
		まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業 区分		
		1	公民館利用者数	中央公民館利用人員数(人) ※ロビー展・芸術祭等の不特定来館者数は未把握のため含まず。出前講座人員含まず。	45,353	48,000	1	公民館運営事業	実施
						50,000	2	中央公民館施設管理事業	実施
		2					3		
							4		
		3					5		
							6		
		基本政策間連携							
	施策の柱2	名称	中央公民館活動事業の充実と連携			主管課	生涯学習課(中央公民館)		
		詳細	多様化する住民ニーズを的確に捉え、各種講座や事業等を計画的に推進するとともに、住民による主体的な活動が生まれる環境づくりを進めます。						
		まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業 区分		
		1	公民館講座満足度	講座終了時アンケートによる満足者数/アンケート回答者数(%) ※施策指標②記載と同じ	-	100.00	1	公民館講座事業	実施
						100.00	2	高齢者大学事業	実施
		2	音楽祭・芸能祭参加団体数	(団体)	56	58	3	公民館人権教育事業	実施
60						4	公民館報発行事業	実施	
3		芸術祭(作品展示)出品点数	(点)	810	900	5	芸術祭等開催事業	実施	
					1000	6			
基本政策間連携									
施策の柱3	名称	地区公民館・分館事業の充実と連携			主管課	生涯学習課(中央公民館)			
	詳細	地区公民館と中央公民館、分館と地区公民館の連携を一層強め、地域での公民館活動の推進と学習活動の成果が地域づくりの実践に結びつくよう支援します。							
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業 区分			
	1	地区公民館講座及び事業数	10地区公民館で開催された講座及び事業の数(件)	53	56	1	地区公民館事業	実施	
					60	2	分館活動促進事業	実施	
	2	分館実施事業数	80分館で実施された事業の数(件)	579	570	3			
					580	4			
	3					5			
						6			
	基本政策間連携								

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)						
	柱2	芸術祭(作品展示)出品点数	810	750	740	－	334	380	470
	3		900	83.33	82.22	－	37.11	42.22	52.22
変動要因等	2018年度	高齢化等による団体の解散により出品数は減少傾向。個人出品呼びかけとともに芸術祭自体の運営を見直していく。							
	2019年度	高齢化等による団体の解散により出品数は減少傾向。個人出品呼びかけとともに芸術祭自体の運営を見直していく。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。							
	2021年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作品の搬入・搬出を工夫し、2年ぶりに作品展示を実施できた。飲食・体験コーナーが設置できなかったことで来場者はコロナ以前よりも減少となった。							
	2022年度	昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作品の搬入・搬出を工夫しながら実施し、前年度比出品点数は増加した。飲食・体験コーナーが設置できなかったことで来場者はコロナ以前に比べて減少となった。							
	2023年度	新型コロナウイルスが5月に5類に移行したことに伴い、昨年度は実施できなかった催しコーナーを4年ぶりに実施することができ、出品点数・来場者数とも昨年度より増え、盛況だったが、コロナ前の出品状況には戻っていない。							
	柱3	地区公民館講座及び事業数	53	50	40	8	1	19	37
	1		56	89.29	71.43	14.29	1.79	33.93	66.07
変動要因等	2018年度	地区事業は37件。分主会による住民参加事業として継続実施を支援していく。地区講座開催は13件。開催は地区によりばらつきがある。他地区事例等により未実施地区を減らしていく。							
	2019年度	地区講座11件開催(12件予定したが新型コロナの影響により1件中止)。地区事業29件実施(35件予定したが新型コロナの影響により6件中止)。							
	2020年度	今年度は新型コロナウイルス感染防止対策としてほとんどの事業を中止した。地区事業は3件(当初予定48件)。今後も感染状況を見ながら分主会による住民参加事業として継続実施を支援していく。地区講座開催は5件。							
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、地区事業の実施が消極的になり、ほとんどの事業が中止となった。地区事業は1件(当初予定32件)。地区講座開催は0件。							
	2022年度	地区事業は7件(当初予定30件)。地区講座開催は12件。コロナ禍で地区事業の実施が難しい状況が続いているが、感染対策及び内容の工夫等により、前年度よりは事業を実施することができた。							
	2023年度	地区事業は23件(当初予定34件)。地区講座開催は14件。新型コロナウイルス5類移行により地区事業再開の機運があり、前年度よりは事業を実施することができたが、事業継承がコロナ禍で途絶え、再開が大変だった。今後は事業のあり方、内容の見直しも含め各地区で検討が必要。							
	柱3	分館実施事業数	579	564	555	88	95	121	217
	2		580	97.24	95.69	15.17	16.38	20.86	37.41
変動要因等	2018年度	分館事業数は若干減少したがほぼ横ばい。分館活動推進のため、市は事業交付金により支援していく。							
	2019年度	分館事業数は若干減少したがほぼ横ばい。分館活動推進のため、市は事業交付金により支援していく。							
	2020年度	今年度は新型コロナウイルス感染防止対策としてほとんどの事業を中止した。分館活動推進のため、市は事業交付金により支援していく。							
	2021年度	コロナ渦の中、各区分で分館事業がなかなか実施できない状況が続いているが、工夫して事業が実施できた事例も見られた。市は事例の紹介、事業交付金等により支援を行っている。							
	2022年度	コロナ渦の中、各区分で分館事業がなかなか実施できない状況が続いているが、感染対策及び内容の工夫等により、前年度よりは事業を実施することができた。							
	2023年度	新型コロナウイルス5類移行により各分館で少しずつ活動を行っているという機運があり、前年度より分館事業の実施数が増えた。人口減少・高齢化等により分館活動の参加者、担い手が少なくなってきた。分館活動推進のため、市は事業交付金により支援していく。							

施策等名称	公民館の充実	体系番号		0201020101	
		主管課		生涯学習課(中央公民館)	

3 評価・改革改善

(単位:円)

項 目			2018年（前年度比）		2019年（前年度比）		2020年（前年度比）		2021年（前年度比）		2022年（前年度比）		2018年～2023年（総括）		
評価	投資額		事業費(円)	49,640,382		46,740,895	0.94	31,582,976	0.68	32,066,672	1.02	37,191,175	1.16	58,622,814	1.58
			うち一財(円)	48,728,916		45,875,816	0.94	31,092,117	0.68	31,001,425	1.00	36,007,124	1.16	57,356,778	1.59
	(2018年～2023年（総括）については2023年の実績を記載）		増減理由（一般財源前年度比±10%以上の場合に記載）					新型コロナウイルス感染防止のため、高齢者大学、市民芸術祭（音楽祭・芸能祭・作品展）を中止したことによる減。				コロナ禍でも、対策を講じながら活動していく方針で、前年度より多くの事業を実施したことによる増。		大規模電気関係更新工事実施等による増。	
	進捗評価		おおむね順調		おおむね順調		やや遅れている		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		
	総合評価	主な取組内容や成果		中央公民館名称変更年として例年事業に加えての事業を実施した。講座においては高い満足度をいただいている。また、施設の工事・修繕等も予算内で出来る限りの対応をした。年間利用者数も増加した。地区公民館、分館支援により地域づくりに寄与。		例年開催している講座については新型コロナウイルス発生以前まで順調に実施できていた。施設の工事・修繕も予定通り実施し、緊急対応箇所も予算内で出来る限りの対応ができた。年間利用者が減となった理由は新型コロナウイルス予防対策による講座の中止が原因と考えられる。		新型コロナウイルス感染拡大防止のため例年開催していた事業を中止した。講座については参加人数を減らして実施できたものもあった。施設は工事の予定はなく、緊急対応箇所も予算内で出来る限りの対応ができた。休館や貸館自粛、講座の中止により年間利用者が減となった。		中止した事業もあったが、芸術祭作品展示を実施するなど、コロナ禍でも工夫して事業を進めた。地区事業については、停滞を続けてしまっている。施設修繕は緊急対応箇所も予算内でできる限りの対応ができた。休館や使用制限等により年間利用者が昨年度に続き減少となった。		(R4評価) コロナ禍でも、対策を講じながら活動していく方針で、講座に加え3年ぶりにホールでの発表等の事業を実施することができた。 (総括評価) コロナの影響により、事業に大きな打撃を受け、回復基調にはあるが、計画開始時の状況には戻っていない。		コロナの影響により、事業に大きな打撃を受けたが、その中でも事業を実施するため、工夫して様々な取組を行ってきた。5類移行により、ようやく回復基調にはあるが、計画開始時の状況には戻っていない。	
課題		建物及び設備の老朽化。 使用団体の高齢化により解散団体が増えている。 芸術祭関係事業への参加団体の固定化。 講座受講者において、男性及び40歳以下の参加者が少ない。		建物及び設備の老朽化。 使用団体が高齢化している他、若年層の団体の解散があった。 芸術祭関係事業への参加団体の固定化。 講座受講者において、男性及び若年層の参加者が少ない。		建物及び設備の老朽化。 使用団体が高齢化し、会員が減少している他、新型コロナウイルスにより活動を自粛し、そのまま解散に至る団体があった。 講座や事業については、十分に新型コロナウイルス感染拡大防止対策をして実施をする必要がある。		建物及び設備の老朽化。 使用団体が高齢化し、会員が減少している他、新型コロナウイルスにより活動を自粛し、そのまま解散に至る団体も出ている。 Withコロナの観点で、事業について感染対策を行いながら、オンライン等も活用し、できる限り実施をしていく。		(R4・総括評価共通) 活動拠点としての建物及び設備の老朽化。 使用団体が高齢化し、会員が減少している他、コロナの影響で、活動を自粛し、そのまま解散に至る団体も出ている。 一度縮小してしまった公民館活動を、できる限りコロナ前の水準に戻していく必要がある。		・活動拠点としての建物及び設備の老朽化。 ・コロナ禍や少子高齢化の影響による担い手不足。 ・学びを住民自治の推進につなげる取組。 ・住民自治の受け皿になる区・分館活動の連携協力。			
改革・改善	改革・改善内容		施設関係は、予防修繕を基本として長寿命化を図る。要望の多い冷房設備は、講座関係は、アンケート等を活用してより内容を充実させていく。若者関係は講座メニューの検討とともに短期講座に変更しより参加しやすくする。芸術祭は、芸術協との協力のもと芸術祭催し等の見直しを図る。		施設関係は、予防修繕を基本として長寿命化を図る。要望の多い冷房設備は工事ではなく簡易的なもので対応できるか検討する。新型コロナウイルス感染防止のため今後は「新しい生活様式」に沿った公民館活動が行えるよう講座メニューや開催方法等を検討する。		施設関係は、予防修繕を基本として長寿命化を図る。要望の多い冷房設備は工事ではなく移動式など簡易的なもので対応できるか検討する。公民館活動は新型コロナウイルスの感染状況により、感染拡大防止対策を十分に行える講座内容や募集人数であるかを検討して実施する。		施設関係は、予防修繕を基本として長寿命化を図る。要望の多い冷房設備は借用した移動式で対応できるか試してみる。また、公民館活動はコロナ禍でも、感染拡大防止対策を取りながら、できる限り実施する方向で検討をしていく。		(R4・総括評価共通) 施設関係は、予防修繕を基本として長寿命化を図る。 活動団体支援も含め公民館活動についてコロナ前の水準に戻すことを目指して、オンラインの活用等も含め、やり方などを改めて考えながら検討して実施していく。 他部署と共に組織体制の見直しを検討。		・施設管理は、予防修繕を基本として長寿命化を図る。 ・個々の学びの充実と住民自治につながる活動の整理。 ・中央公民館と地区CC、市民活動センターの機能見直しと組織統合の検討。		
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱・重点事業	2		2		2		2		2		2		
			1		1		1		1		1		1		
		理 由	講座をきっかけとして公民館利用者を増やす。また、継続的な学習への発展、自主的な学習グループ等への支援により生涯学習の振興を図る。		講座をきっかけとして公民館利用者を増やす。また、継続的な学習への発展、自主的な学習グループ等への支援により生涯学習の振興を図る。		講座をきっかけとして公民館利用者を増やす。また、継続的な学習への発展、自主的な学習グループ等への支援により生涯学習の振興を図る。		講座をきっかけとして公民館利用者を増やす。また、継続的な学習への発展、自主的な学習グループ等への支援により生涯学習の振興を図る。		講座をきっかけとして公民館利用者を増やす。また、継続的な学習への発展、自主的な学習グループ等への支援により生涯学習の振興を図る。		講座をきっかけとして公民館利用者を増やす。また、継続的な学習への発展、自主的な学習グループ等への支援により生涯学習の振興を図る。		
作成担当者			田中 ひろみ		辻井 まどか		辻井 まどか		両角 香代		両角 香代		両角 香代		
最終評価責任者			平出 信次		北沢 政英		北沢 政英		北沢 政英		上田 佳秋		上田 佳秋		
最終評価年月日			2019年5月31日		2020年7月10日		2021年5月28日		2022年5月30日		2023年10月18日		2024年7月11日		